



早期完成が待たれる栗山川の改修工事

答 ①災害防止などのため、以前より期成同盟会を通じて県に早期完成を要望している。また、このほど多古地先まで改修計画が延伸されたところであるが、生活橋ともいえる横芝堰管理橋については、現在光町とともに拡幅要望しており、これも栗山川の工事と併せて改修されることになると思う。なお、町の財政負担については、河川改修は県の事業負担で実施されるが、橋の拡幅を行う場合は、一部町負担が見込まれるようである。②まだ同意を得られない何名かの方々がいるようだが、理解していただくよう誠意を持って状況説明していくとのことであった。③県の発注工事であるため、町では業者指名することはないが、地場産業育成のために

も地元業者の参入について要望して行く。

広域行政

問 ①この10月に山武郡市水道企業団の市町村連絡協議会が廃止となったが、この廃止理由を伺いたい。②今後難しい問題が発生した場合はどう対応していくのか。

答 ①水道企業団設立当時は、各町村とも上水道に対する住民の理解が薄く、加入率が非常に悪かった。この協議会は、加入率を向上させるための普及啓蒙と、既に上水道を単独で運営していた自治体との料金調整を図るために設立されたもので、現在では加入率も91%を超え、当初の目的はほぼ達成されたというところで、10月14日の各委員の任期満了をもってこの協議会は廃止になった。②今後の重要事項については、企業団の諮問機関である水道事業運営委員会決定していくとのことである。

情報公開条例

問 行政の透明性を示すため、情報公開条例を制定する自治体が増えてきていると聞くが、当町ではこの条例を制定する考えはあるのか。

答 県内でこの条例を制定した自治体は今のところ千葉市など10市で、町村段階ではまだ制定

されたところはない。しかし、情報化が進んできている今日、行政への理解と信頼を図るためには、将来的にこの条例を制定して行く必要があると考えている。今後、文書管理規程の整備と併せて、情報公開条例の制定についても前向きに検討していくつもりである。なお、この条例を制定する場合には、同時に、個人の秘密保持のための保護条例も制定しなければならぬと思っている。

ボランティアの人材確保

問 ①進み行く高齢化社会を迎え、今後ますますボランティアの必要性が増すと思うが、当町における活動状況について伺いたい。②個人でボランティア活動に参加しようとする方の受け入れ体制はどのように行っているのか。

答 ①ボランティア活動については、先の国会でも論議されたように、全国的にも大変重要な活動として取り上げられている。当町でも、色々な組織にボランティア活動をしていただいているが、特に、昭和59年に設立された町ボランティア連絡協議会には、施設慰問や食事のサービス、海岸清掃など様々な活動をしていただいている。また、学校教育においても、社会に貢献する重要な活動として位置づけ、現



中学生による花植えのボランティア

在、中学生が中心となり、道路脇の花植えやあき缶拾いなどのボランティア活動を行っている。また、今年度から始まった県のいじめ対策事業の中にもボランティアの項目があり、今後も更に活動を広げて行くものと思われる。②現在は、各組織の方々が中心となり、ボランティア活動を行っているが、個人的に参加していただける方については、社会福祉協議会を通じて、個人でも参加できるような体制づくりをしていきたいと考えている。

防災問題

問 ①大総地域の一部には、水圧が低く火災の際に十分な水量が確保できない消火栓がいくつかある。このような地域の防災対策をどう考えているのか。②

大総地域での消火栓の水圧は、地区別ではどれほどなのか。③今後、この地域で計画されている集落排水事業と併せて、消火栓の改良工事を行うことはできないのか。

答 上水道の配管は、家庭用に使用する管と消火栓の管とが同じであり、家庭用であれば支障はないが、防災用としては問題のある消火栓がいくつかあることは聞いている。このような消火栓は、当初から貯水槽に水を張るなどの補助的な用途に設置されたもので、これらを全て改良するには全体で約7億円という莫大な費用がかかることであった。しかし、消火活動には水利の確保が最も重要であることは認識しているので、今後は、消火栓に替わる井戸を試験的に掘り、それが使用できるようであれば、水利の不足している地域にはこの井戸の普及を図っていききたい。②ポンプ圧をかけている木戸台や中台、牛熊地区などの水圧は末端で2キロのこと。谷台など自然流下地区の水圧は把握していないので、今後詳しく調査してみる。③集落排水事業の配管は、上水道管などの更にその下部に埋設するため、併用工事は難しいのではないかとと思われる。しかし、それが可能かどうか今後検討してみる。